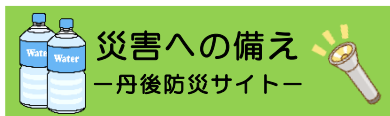


～毎月1日は、防災について考える日～

災害対策NEWS

No.2



災害への備え
—丹後防災サイト—

京都府丹後保健所
HPバナー

編集/発行 (京都府丹後保健所)
災害対策ワーキングチーム

<事務局>

京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)
〒627-8570 京都府京丹後市峰山町丹波855
TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

台風第23号の記憶

平成16年10月20日から21日にかけて、京都府を通過した台風第23号は、府内では昭和28年の台風第13号以来の記録的な豪雨となり、21市町で河川のはん濫や土砂災害が発生し、死傷者、家屋の損壊など大きな被害をもたらしました。

近年、7月から10月にかけて接近・上陸する台風が多くあり、大雨や河川のはん濫、がけ崩れなどの自然災害が各地で度々発生しています。

また、短時間に狭い範囲で非常に激しい雨も頻発しています。

台風や大雨のニュース、気象情報を見聞きされたときは、危険な場所に近づかないようにしてください。



バスの屋根に避難し、夜を過ごされました(舞鶴市)毎日新聞朝刊

過去の台風から学ぶ



根元から折れた天橋立の松の大木(天橋立公園地内)

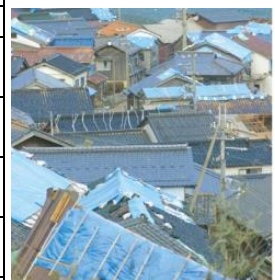


堤防が壊れた野田川では、約75haが浸水(与謝野町)

名 称	平成16年 台風第23号	
発生日	2004年(平成16年)10月20日～21日	
被害地域	京都府中丹・丹後地域に甚大な被害	
被害の概要 (府内)	死傷者	死者15人 重傷14人 軽傷188人
	避難者	避難指示2,750人 避難勧告4,060人 自主避難810人
	ライフライン被害	停電79,222世帯 断水34,282世帯
	家屋の被害	全壊26棟 半壊328棟 一部破損3,151棟 床上浸水2,726棟 床下浸水4,376棟
	学校の被害	小学校89か所 中学校36か所 高校36か所
学ぶこと	豪雨被害	河川のはん濫 家屋等の浸水 道路の寸断
		土砂災害 家屋等の損壊 道路の寸断
	暴風被害	浸水 家屋・田畑・道路等の浸水
備えること	医療体制	災害拠点病院の整備 DMAT等医療従事者の受援整備
	避難所	感染症のまん延防止、衛生面のケア、メンタルヘルスケアなど健康管理機能の整備
	ライフライン	電力、ガス、水道、下水道、通信、放送など被害発生時の復旧・応援整備
	孤立対応	情報通信、救助・避難方法、支援物資の確保、土砂災害等の注意喚起
出 典	平成16年 台風第23号災害記録誌「思いやりの心 助け合う力」 台風第23号による災害 その復旧までの記録 2008年(平成20年)3月 京都府砂防・治水・防災協会	



竹野川のはん濫で浸水した田畑(京丹後市丹後町)



ブルーシートで応急対応する住宅(伊根町蒲入)

災害関連事業(令和6年10月～令和7年2月)抜粋

開催日	事業名	内 容	参加者数	対象者
R6.10.15	丹後災害医療連絡会	災害医療体制の整備について	30名程度	丹後管内医療機関等関係者
R6.11.18	丹後圏域障害者自立支援協議会 医療的ケア部会	医療的ケア児における災害時対応と課題について	20名程度	丹後管内障害福祉関係者
R7.2.4	医療と介護の連携推進研修会	DMAT 医師による講演 石川県輪島市の介護施設による報告 全体での意見交流	98名	丹後管内医療機関・介護事業所等職員

◆ ◆ ◆ 災害関連事業 実施報告 ◆ ◆ ◆

【医療と介護の連携推進研修会】

開催日：令和7年2月4日（火） 会場：野田川わーくばる（与謝野町）
 テーマ「災害支援における医療と介護の連携について」

今年度は「災害支援における医療と介護の連携について」をテーマに、能登半島地震でDMATとして活動された北部医療センターの医師による講演、石川県輪島市にある特別養護老人ホームの施設長による報告を受けたあと、全体での意見交流を行いました。

医師からは、災害医療対策の3本柱として、①日々の備蓄、②有事のマニュアル作成、③連絡連携体制の構築、を掲げ、普段からの顔の見える関係づくりと連絡手段の構築の重要性を話されました。

施設長からは、被災時の現場対応や受援時の状況、平常時からの備蓄の重要性について報告いただきました。発電機や水の確保など具体的な事例報告は大変参考になりました。

意見交流では、BCPの作成と訓練の重要性、地域資源の把握と活用等について全体で共有しました。

丹後地域の医療と介護の多くの関係者に参加いただき、災害発生時の体制強化に向け意識を高める機会となりました。



災害時情報共有システムとは？

災害時における事業所等の被害状況を国・自治体が迅速に把握・共有し、被災した事業所等への迅速かつ適切な支援につなげることを目的に整備されたシステムです。種類は次のとおりです。

【高齢者施設】

- ・介護サービス情報報告システム

【障害者施設】

- ・障害者支援施設等災害時情報共有システム

【児童福祉施設】

- ・児童福祉施設等災害時情報共有システム

【医療機関】

- ・広域災害・救急医療情報システム(EMIS)
- 令和7年度から代替サービスへ移行



【災害用語紹介】

DHEAT とは…

災害が発生した際に、保健医療行政の指揮調整機能等を支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成する派遣チームです。

主な業務は、健康危機管理に必要な情報収集・分析や全体調整などが円滑に実施されるよう、被災都道府県等の保健所等を支援することです。

出典：厚生労働省 DHEAT活動要領

備えて安心 防災日記

昨年の能登半島地震では1月初旬の1週間、災害派遣保健師チームの一員として、石川県珠洲市で避難者の健康観察等を行いました。

避難されている方、避難所を運営されている方、地元職員の方、皆様被災者で大変な状況の中、「わざわざ来てくれてありがとう」と優しく声をかけてくださった姿が心に残っています。

過酷な環境の中、災害関連死を防ぐことを第一に考え、多職種で連携して支え合うことの大切さを強く感じました。

また、平常時からの備えの必要性について、あらためて考えさせられました。

今年度、所内に災害対策ワーキングが立ち上がり、私はチームの一員として、災害対策NEWSの作成やホームページの充実等、保健所としてできる備えは何か考え、取り組んでいます。

関係機関とも協力しながら、地域を守るために動けるよう、努めていきたいです。

最後に、この度の能登半島地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りしております。

（かく）

